

三重県玉城町

⑩ふるさと味工房アグリ（有限会社玉城アクトファーム）

東海農政局選定

～ 都市と田舎、生産者と消費者を繋ぐ架け橋に！ ～

◆子ども(教育・体験) ◆地産地消 ◆女性の活躍



ふるさと味工房アグリ 外観



出荷農家の顔写真を
掲示して農産物の販売



地域の伝統産業 しめ縄づくり体験

活動のきっかけ

昭和55年に養豚農家6戸が美味しい豚肉を作ろうとグループを結成後、地場農畜産物の供給などを通して都市と農村の交流を図るアスピア玉城の事業への参加を契機に、平成9年に町内の水稻農家1戸を加え有限会社玉城アクトファームを設立。施設内の「食の施設」の運営を町から受託し農畜産物の直売や加工、レストラン事業、農業体験等のイベント開催に取り組む。

活動の概要

- ◇農畜産物直売施設では会員農家104名の農畜産物を販売、食肉加工施設では看板商品「玉城豚」の精肉やハム等を販売、レストランでは玉城豚や地元産野菜を使用したメニューを提供、手作りパン工房では地元産小麦や国産米粉を使ったパンの製造など、地産地消に取り組む。
- ◇女性従業員が約7割で、7事業部門中3部門で主任責任者として企画・提案等で経営に参画。
- ◇手作りウィンナー作りとパン作りの加工体験教室で地元小・中学校の食農教育に協力。
- ◇交流の取組では、里山の農業体験9、加工体験3、季節の体験20メニューを実施。

活動の成果

- ◇農産物直売所では生産者の写真を掲載し農産物に生産者名の記入、食肉加工施設等は製造工程をガラス張りにして見せることで「食材・食品への安心感」を高め、来客は年間24万人以上で地域の活性化、農業者の所得向上に貢献。
- ◇農家の女性起業活動を支援し、6次産業化を实践する会員7農家全てが女性。
- ◇体験イベントに約1,700人が参加。特産のしめ縄づくり体験で地域文化の保存・伝承に貢献。

問合せ先

〒519-0438 三重県度会郡玉城町原4254-1
TEL:0596-58-8686 FAX:0596-58-8687

⑰大紀町地域活性化協議会

東海農政局選定

～ 熊野古道伊勢路・農林漁業体験民宿で感動体験 ～

◆ 農泊 ◆ インバウンド ◆ 子ども(教育・体験)



大紀町のスギ並木の下で行う山ヨガ



錦の魚を使った干物づくり体験



外国人に人気の着物着付けと鎧兜体験

活動のきっかけ

過疎化・少子高齢化、後継者不足により商工会員事業者が年々減少し、地域経済が消滅する危機感を覚えた大紀町商工会長が、農林漁業体験民宿を中心とした体験型観光事業の促進を目的に掲げ当協議会を設立。

活動の概要

- ◇平成26年度から子どもを対象に、農林漁業関連団体、農林漁業者、地域団体と連携して50種類以上の農林漁業、自然、伝統文化等の体験プログラムを実施。
- ◇農林漁業体験民宿や体験施設等をネットワーク化し、顧客のニーズに応じて体験や宿をコーディネートするワンストップ窓口を設置。
- ◇「外国人に優しい町」を目指して、多言語に対応した体制を整備、インバウンドの受け入れを強化。
- ◇平成27年度から女性を対象に、自然の中で行う「海ヨガ」「山ヨガ」「SUPヨガ」など「美・健康・癒し」の体験プログラム約10種類による美容ツーリズムを実施。

活動の成果

- ◇3年間で約250人の子ども達を受入れ。体験民宿の取組が魅力的で町の知名度が上昇。
- ◇体験民宿軒数増加で、50名以上の団体の受け入れが可能となり、旅行会社との商談会に参加。
- ◇平成28年度から台湾からの教育旅行に取り組み、29年度は3回130名が来町。インバウンドを中心に年々需要が拡大し、29年度中に10軒の体験民宿が新規開業予定。
- ◇29年度はバス旅行会社の女子旅にも起用されるなど、フルオーダーメイドの旅が人気。

問合せ先

〒519-2802 三重県度会郡大紀町崎2154-1
TEL:0598-74-2277 FAX:0598-74-2278

⑱農事組合法人土実樹

第4回選定

～ みかんの里・五ヶ所で地域とともに歩む ～

◆雇用 ◆6次産業化 ◆その他(地域農業の振興、担い手育成)



農事組合法人土実樹の直売所



パッションフルーツの栽培



農産物加工品(ジュース類)

活動のきっかけ

地区農地の生産基盤整備、温室や集出荷施設の整備を契機に、農地の買入・借地による柑橘生産経営の規模拡大及び後継者の育成を目指して、平成12年に農家6人で農事組合法人を設立。

活動の概要

- ◇消費者ニーズに合わせて多様な柑橘類を栽培し直営店で販売。ジュース、アイスクリームなどの加工にも取り組み、スーパーマーケット、ホテル、列車の車内販売など販路を拡大。
- ◇中山間地域等直接支払制度の共同活動のリーダーとして地区内の人をつなかりを醸成。
- ◇販路開拓を目指し、異業種7事業者で連携した商品開発や、イベントでの交流に取り組む。
- ◇研修生を受入れ、技術習得後に農地の確保も含めた独立を支援し、担い手育成に取り組む。

活動の成果

- ◇柑橘に比べ軽量で、小面積、低資金で栽培を開始でき、女性や高齢者でも重労働とならないパッションフルーツの栽培、加工の取り組みを開始。
- ◇環境に配慮した栽培の取り組みで、「みえの安心安全表示制度」登録生産者に認定。
- ◇6次産業化等の推進で、所得の向上、農地保全、雇用、新たな担い手の確保に貢献。
- ◇集落の共同活動で培われた信頼関係で、離農者の園地を円滑に引き受け地区の農地を保全。
- ◇異業種連携で開発した「でこたんようかん」は人気商品で年間15万個の売り上げ。

問合せ先

〒516-0101 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3958

TEL:0599-66-1201 FAX:0599-66-1346

⑱株式会社デアルケ

～ 過疎地域の活性化と1次産業の振興 ～

◆雇用 ◆6次産業化 ◆定住・移住



キッズニア 小学生の農家体験



極上200%トマトジュース



みえの安心食材認定 自慢のトマト

活動のきっかけ

リーマンショック後、1次産業が見直されていたが、農業者の高齢化、地域の過疎化など、多くの問題も抱えていた。そういった状況を危惧し、自分にも何かできることはないかと思い、平成21年に当地域に移住し農業を企業化。

活動の概要

- ◇平成21年からトマトの生産を中心に農業を企業展開。
- ◇農作業従事者の確保に向けて移住者や地元の方の雇用に向けた研修、また支援学校の障害者や精神疾患者の研修受け入れを実施。
- ◇地域の農業者と生産者グループ「紀北農業者の会」と直売所「さくらファーム」を立ち上げ。
- ◇農林漁業者のグループである「海・山こだわり市」の実行委員や三重県下の若者の農業者団体「次世代ファーマーズミエル」の発起人として参画。

活動の成果

- ◇デアルケが当地域に移住し、農業で生計を立てることで、移住や就農を模索している者への促進効果で、新たに移住し農業を始める者も出ており、地域の活性化や一次産業の振興に寄与。
- ◇直売所やこだわり市があることで、作ったものを販売するという高齢者の生きがいがいづくりに寄与。
- ◇伊勢志摩サミット2016では当社の加工商品「極上200%トマトジュース」が採用。これをきっかけにメディアに多数取り上げられ当地域を全国に発信。

問合せ先

〒518-3118 三重県北牟婁郡紀北町三浦1574
TEL:0597-31-0058 FAX:0597-31-0235

②③ 三重 紀北町 海・山こだわり市

～ 魅力・ときめき発信！ 地域みんなを元気に！ ～

◆「食」の提供・活用 ◆6次産業化 ◆地産地消



実行委員メンバー集合写真



海・山こだわり市 会場全体写真



海・山こだわり市 ブース写真

活動のきっかけ

農業・漁業を営む一次生産者として、いいものを作って売るためにはより多くの方に対して商品の価値や自分たちの「こだわり」を適確に情報発信しなければいけないが、まずは身近な地域のヒトたちに自分たちのことや生産品を知ってもらいたいという思いから、平成25年に活動を開始。

活動の概要

◇実行委員会メンバーである若手生産者のこだわり生産品と地域内の旬を組み合わせた「海・山こだわり市」を年3回程度開催。

◇近隣の尾鷲市や熊野市の若手生産者のメンバーで気軽に食べ歩きのできる「棒（串焼きなど）」対決のイベント開催。

活動の成果

◇若手生産者やそれぞれの生産品の認知度がアップし、三重県知事との対談も実現。

◇実行委員の商品を使って、地域コラボ商品を開発、販売が開始。

◇町外からの参加店舗も増えたことで、来場者数が3,000人に増加。

◇実行委員会メンバーの商品「200%トマトジュース」が伊勢志摩サミット2016の会食ドリンクとして採用。

問合せ先

〒519-3406 三重県北牟婁郡紀北町相賀2094-5

TEL:090-4861-6737 FAX:0597-31-4126

②尾呂志地区活性化プラン推進委員会

～ 次世代に繋げ、いきいき暮らせる 尾呂志地域！ ～

◆6次産業化 ◆定住・移住 ◆その他(農業振興)



おひまち会による郷土料理「三杯」の勉強会



純米大吟醸 風



ホームページ「恋しよおろし」開設

活動のきっかけ

本地域には、過疎化・高齢化などの課題解決に向けた住民による様々な活動が従前より展開されていたが、「地域活性化プラン」の策定を契機に、議論を重ね活動を一本化する形で平成23年度に「尾呂志地区活性化プラン」を策定し、翌年度推進母体として推進委員会を設立。

活動の概要

- ◇尾呂志「夢」アグリと地元企業と協働で県産酒米を栽培し日本酒を醸す取組を実施。
- ◇さぎりの里直売所では、平成22年度から海岸部の産直市場と連携し、月1回交互に出展し合う新しいスタイルの交流を開始、海の商品が並ぶことで直売所の魅力が向上。
- ◇女性グループ「おひまち会」は、郷土料理「三杯」「落花生の煮豆」等の勉強会・講習会、商品化の取組など、郷土料理の保存、普及の活動を実施。
- ◇ライブカメラによる24時間中継、フェイスブックページ「恋しよおろし」、尾呂志の歳時記や郷土料理等を紹介するホームページ等で地域情報を積極的に発信。

活動の成果

- ◇尾呂志「夢」アグリ米の生産量・販売量も着実に増加し、耕作放棄地の抑制にも寄与。
- ◇地元企業との連携により完成した日本酒が、地域の新しい特産品として人気。
- ◇さぎりの里の直売所は好調な売上を継続、販売先があることで地域の小規模な農地が維持されるとともに、出荷する組合員の生産・販売意欲の増進、高齢者の生きがいづくりにも貢献。
- ◇地域を一本化した活動で地域を前面に出した発信が地域内の一体感・連帯感の醸成に寄与。

問合せ先

〒519-5322 三重県南牟婁郡御浜町上野918-8

TEL:05979-4-1078 FAX:05979-4-1078

②農事組合法人飛雪の滝百姓塾

～ 災害と獣害を逆手に地域活性化 ～

◆自然・景観 ◆企業 ◆鳥獣被害防止



企業とのCSR活動による田植え体験



社員の家族も一緒に稲刈り



侵入防止柵周辺のつる除去

活動のきっかけ

紀宝町浅里地区は、高齢化と獣害により地域の活力低下が課題となっていた。平成23年の紀伊半島大水害の災害ボランティアで縁ができた企業と、平成27年に「農村活性化の取り組みに関する協定書」を締結、地域活性化と里山保全に取り組む。

活動の概要

- ◇不要になった魚網を利用して、シカの防護柵を共同設置、獣害対策研修会開催、集落全戸アンケート実施・結果報告、集落被害マップ作成など集落全体での獣害対策を実施。
- ◇新入社員研修を兼ねた田植え体験と放置竹林の伐採、社員の家族も交えた稲刈り体験と獣害防止柵周辺の草刈り作業など企業と連携したCSR活動を実施。
- ◇集落営農組織を中心に水稻新品種の栽培を開始し、「飛雪米」と銘をつけて販売を開始。飛雪米で作った「なれずし」を販売し紀州の食文化を発信。

活動の成果

- ◇集落全体で獣害対策に取り組む活動の高まりと、企業の協力で獣害は大きく軽減。
- ◇企業との連携では、社員や家族に農業の実際を知ってもらう機会となり、社員食堂で「皆で植え、収穫したお米」を味わってもらうことで、農産物の販路拡大にもつながっている。
- ◇CSR活動で若い社員が参加することで、高齢化の進む地域にとって「若い人が手伝ってくれると元気が出る」と良い刺激となり、栽培意欲が芽生え不作付地の解消にもつながっている。
- ◇facebookによる発信、移住促進等の取組により、移住者が5人増加。

問合せ先

〒519-5718 三重県南牟婁郡紀宝町浅里781番地
TEL:0735-22-7988 FAX:0735-22-7988



「デイスカバー^{むら}農山漁村の宝」(第4回選定)東海農政局管内 応募団体事例集
(平成30年3月)

編集・発行 東海農政局 農村振興部 農村計画課
〒460-8516 名古屋市中区三の丸1-2-2
TEL:052-223-4629 (直通) FAX:052-220-1681

「デイスカバー農山漁村の宝」ホームページ(東海農政局)
URL:<http://www.maff.go.jp/tokai/noson/keikaku/discover/index.html>